

刊夕日四十月四

# 常磐五日新聞

定額一萬五千元一月  
 廣告料五十二字一頁五元  
 日曜日の日休刊  
 発行所 常磐五日新聞社  
 印刷所 常磐五日新聞社

## 童話 蝶々のお母様達

M・T生

お池の上にも涼しい木影が出来ました。白い蝶々はそこへ木の葉のお舟を浮かべて涼しんで居りました。ひや／＼とお水の上を渡る風が蝶々のお羽をゆすります。「まあ、いい氣持」

白い蝶々はうつとりしながら上を見ましたら、丁度そこを忙しそうにお友達の黄色い蝶がかけて行く所でした。

「もし／＼お忙しいんですか？少し休んでおらつしやいませんか。こゝはほんとに涼しいですよ」と声をかけました。

「え、ありがたう、でも赤ちやんが泣いてるといけませんから」

「まあ、赤ちやんが生れたたんですの？ どんな赤ちやん。私にその赤ちやん抱かせて下さらない？ 貴女の赤ちやんでしたら、まあどんなに可愛らしいでせう」

「え、丸々肥つて、それは可愛らしいんですよ、それにそれはかしこいんですよ」

「ちや、はやくね、私こゝで待つてますから」

黄色いお母様の蝶々は急いでとんで行きました。白い蝶々はどんなに待ち遠しかったでせう早くその赤ちやんを抱っこして見たかつたのです。

「お待ちどうさま、丁度よくなつてゐますの。」

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

- 【朝】バター トースト 鶏肉 スープ リンゴむしやき
- 【晝】マカロニとかき貝グラタン
- 【晩】鶏肉をぼろ汁

お母様の蝶々は大事そうに赤ちやんを見せました。白い蝶々はびっくりして、ひつくり返りそうになりました。何故つてそれはトク毛の生へた小さい毛蟲でしたもの。

「今ね、それは立派な翅が生へますよ。黄色い大きな翅が、若しかしたら金の翅かも知れせんつて、私の小さい時にそつくりですつて私のお母さんが言ひましたわ」

## 文藝募集

黄白の蝶々が訪ねて来ました。

「まあ立派な赤ちやんですこと、今にきつと大きい白い翅が生へますわ、若しかしたら銀の翅が生へますわ」とほめました。

「有難う」

ふたりはお母様の蝶々は赤ちやんをみながらにっこりと笑ひ合ひました。

店主が店員	を連れて行く	か	れ	る	食	堂
正	シ	イ	酒	場	正	シ
正	シ	イ	喫	茶	正	シ
正	シ	イ	酒	場	正	シ

平・田町  
 レストサロン  
 電三五二番

一の井田町へ進出以來未だ日淺●日絶大なる御聲援を賜り有難く御禮申上ます、

扱て離新館増築中の處愈々落成致しました、是非御散策のお歸りには！

## 一の井 別館落成

平町田町五  
 静かなお座敷  
 氣輕な食堂  
 一の井  
 電一六七

新しいの……

## ハナのタネ

入荷致しました 横濱植木會社の特撰品です

平2 西村屋藥局 電3

お花見の……

## 折詰 辨當

是非御用命下さい



耳鼻咽喉科専門

## 大和田醫院

平町 南町 一六(電話一七〇番)

## 擴張披露

私事永らくの間東京精養軒及丸ノ内會館に於て各國の高級料理と眞の支那料理の研究を遂げ、此程歸平しまして、デパート式食堂を開く事になりました何卒御引立の程御願し致します

金子松男

非常時日本の更正に皆様の御健康を護る最も進歩せる洋食と支那料理

▽三大モットー

- ▽味良 (自信の出来る研究の結果を)
- ▽量多く (自ら庖丁を手にして他人に委せはす勉強振りを量に依つて現します)
- ▽衛生上 (加熱消毒を致し)

田町銀座街より一步御入りになれば、感じよい設備で御家庭を延長した御氣分が味はれ驛にも近く御便宜で御座います

◎材料は日々京濱地方より新品到着致します

出前迅速

平町田町

# 福壽軒

電話二八番

古レコードと蓄音器買入

皆様の御家庭にて既に御不用となつたものでも何處の店よりも高價に買ひます

平町三丁目

## 天地堂

電話五八九番

# 平神谷間直通國道

## 工事着手近し

### 平町に建設事務所を設置

#### 六號線國道舗装に備へる

【昨報】夏井川改修事業附帯工事としての平町鎌田橋建設事業並に神谷より平町本町道路に通ずる新國道改修に依る鎌田山切堀工事は愈々近く着工本年中に完成する筈である。總工費十五萬圓中前者は八萬五千圓、後者は六萬五千圓で十三日內務省仙臺出張所技師野瀬正人氏が來平した結果事務所を平町に設置すること決定、平町で適當な敷地の便を圖

ることになつた。右工事が完成すれば従來の迂廻線と別に平町本町通りより神谷村に至る一直線の國道出現を見る譯で尙本工事終了後は直ちに平町を中心とする勿來、久之濱間の國道六号線舗装工事が總工費二百萬圓着工される模様あるため平町としては今回の建設事務所を永久的設計方を小名濱町內務省港灣工事課技師に依頼した。

# 縣社子歛倉稻荷神社

## 例大祭執行

平町鎮座縣社子歛倉稻荷神社例大祭は来る十七、八兩日櫻花爛漫に魁けて左記の如く執行されるが餘興として兩日に亘り地方有名の會我廻家一行の喜劇、文化萬才、レビユー等の催ある外大花火、レコードコンサートがあり他にも町内各町下種々の催物計畫中で例年の如く町内各校學童の参拜等もあり當日の段賑さを豫想されてゐる。

十七日午前十時縣供近使  
四町十八ヶ村聯合消防組檢  
關は来る、十九日午前九時よ

平署管内消防  
聯合檢閱執行  
管内  
四町十八ヶ村聯合消防組檢  
關は来る、十九日午前九時よ

田又一 (山田) 下山田通  
大平惣吉 遠藤功 蛭田  
勝利 川原吹幸藏 渡邊  
武雄 (泉) 下遠野武道  
志賀義明 佐藤源一郎  
上遠野宇吉 江尻喜一  
(錦) 根本作兵衛 大津定  
利 金成榮治 鷲男 高  
木一男 星歲次

居るので同村消防組が幹旋  
でガソリン唧筒一臺を購入  
し去る十二日發會式を兼ね  
た披露式を行つたが少年消  
防隊で動力唧筒を使用する  
のは本郡最初のものである

# 空の勇士の

## 英靈安かれ

### 夏井村に忠魂碑建立

夏井村役場並に村内有志は  
同村宇藤間海岸地内に昨年  
八月廿八日防空演習中機高  
に故障を生じて不幸墜落殉  
職した濱松市陸軍特務曹長  
濱谷憲二陸軍上等兵橋本正  
二兩氏の靈を永久に記念す  
るため同海岸に工費六百四  
十圓で高さ十二尺總花崗石  
の忠魂碑を建立することに  
なり地方有志から寄附募集  
を開始した着工は八月下旬  
になる筈

【既報】平郵便局で計畫中  
であつた公園内臨時出張は  
準備が出来上つたので來  
る十六日より公園内演藝場  
附近に設置し普通郵便物の  
外切手端書及記念スタンプ  
の押印等を取扱ふ事となつ  
た

平第一校  
事務分掌  
平第一小  
學校の新  
學年度事務分掌は左の如く  
決定した

第三春期遠足  
既報  
平第三小學校は来る廿四日

# 産組總會

## 終つて觀櫻會の催

石城産業組合の職員會總會  
は来る廿六日午前十時より  
丸友ホールに開會豫算決算  
を附議し正午から出席者白  
二十名が松ヶ岡公園に乘込  
んで觀櫻會を開く

# 謹告

來る十八日縣社小歛倉神社大祭當日は  
例年の通り謹んで休業仕候  
但日本銀行並、縣金庫事務は平常通  
り取扱申候

# 平町銀行組合

一 齒科 一般  
一 工科 齒列矯正科  
一 外科 小兒齒科 齒槽膿漏科  
一 レントゲン科

# 中野齒科醫院

院長 日本齒科  
醫學士 中野 惠 次  
日本齒科  
醫學士 西 川 誠  
電話 五〇九番  
平町田町(松月堂向と)

春期遠足として各學年が左  
の方面に出發する  
一年白土八幡、二年山崎  
專稱寺、三四年白水阿彌  
陀、五六年鹽崎燈臺

春駒驛市 十四日から  
二日で行はれた田人村黒  
田春駒驛市は出頭馬百六十  
四頭總價格八千九百八十二  
圓で最高百六十八圓最低卅  
圓平均五十四圓七十七錢で  
あるが尙優良馬の表彰左の  
如し

四社一綠川定浩(田人) 2  
山田好文(全) 3 澤川義平  
(全) 四社一綠川憲藏  
(田人) 2 大和田福次郎  
(全) 3 綠川金太郎(全)

平町 入 事  
回 出 主  
△中町一三 荻野日八郎氏

長女里さん  
△立町五 山野邊奈藏氏六  
男昌平さん  
△新川町三〇 中野喜平氏  
長女齋子さん  
△久保町三三 吉村專十郎  
氏五男正雄さん  
△材木町三九 助川長次氏  
三男宗三郎さん

回 婚 姻  
△新川町三〇 中野喜平氏  
(二七) 江名町大字中之作  
印刷の御用命は：  
常警毎日印刷株式  
會社  
宇川岸六齒田タマさん  
(一九)

△中町一二 荻野日八郎氏  
(三六) 茨城縣寄波郡北條  
町大字北條七五石田とみ  
さん(二五)

# 突如、平町が... 片濱廻りに加擔

## けふの急施町會緊張

### 從來の白紙的態度を脱去

平小鐵道の經由豫定線に就いては平町は争奪の渦中に投せし白紙的態度で成行きを静観する意圖により青沼町長は寧ろ

仲裁役的立場にあつたが本日午前十時より突如

急施町會が開かれ豫定線を片濱經由に決定された旨鐵道省へ陳情する議案が提出されたので町會は俄然波紋を描き「何れの路線を經由すべきかに就いては平町の

利害得失は既に平小鐵道が計畫された當初に於て見通しがつかなければならない事であるが平町としては平小線が實現するのあれば何れを通過するの難も異議なしとの見地から白紙を以つて今日迄

静観して居た、然るに準備的測量を終了し今や鐵道省が實測に着手せんとする矢先即ち既に鐵道側が腹を極めて終つた時に臨んで敷から棒の陳情運動を起すが如きは時期既に遅く残るは陳情運動の費用損となり町民の負擔を増大する以外に何も

もない、斯かる無益な運動を今から事新らたに遣り出さねばならぬ理由が何處にあるか」と馬目(武)馬目(雅)川崎の各議員が鋭先鋭く肉迫し議場

頗る緊張 是れに對して佐々木、鈴木、花澤各議員大いに應戦に努め井上議長は幾度か休議を繰り返して議場の收拾に努むる處あり

原案支持 派が勝を制しその委員を議長指名にて左の如く決定した

堀喜一 關内正一 高橋龜松 小松茂 吉田五平 (正副議長を加ふ)

## 憂鬱な天候

### 氣まぐれな春の氣壓が悪戯して

もう櫻も咲き出す筈なのに日曜から天候がまた急にグレ出し昨日は春に似つかぬ土砂降りで一日を送らしめ

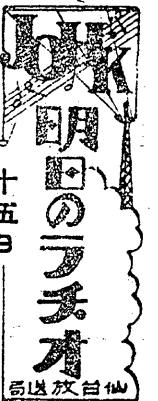
た氣まぐれな春の天候を小名濱側候所に打診して見ると「この陽氣は變り易い春の氣まぐれの現象で高氣壓が北日本から本洲北部に

頭部を強打即死 トクツク疾走中異變 上遠野村字元町五三自動車 三(三)は十三日午後五時頃 業大泉英一方運轉手横田力 双葉郡廣野村にトラツクで

## 飛び乗り損ねて

### 頭部を強打即死

磐城高等女學校では今十四日午前十一時から同校裁縫室で造花講習會を開いたが講師は笹井式造花傳習所長笹井銀月氏で從來の造花の型を破り種々な道具を使用



今晩は北東の風 雨明日は北西の風 天気次第に良くなる

## 今晩の部

後六、〇〇 コドモ日本史 「聖徳太子」大阪國史劇研究會  
後六、二五 青年の時間 「青年高杉晋作」藤田鴻輔  
後七、三〇 講演「藥局方の五十年」慶松勝左衛門  
後八、〇〇 尺八獨奏「磯山」  
荷物運搬の歸途四倉町新町地内國道を疾走中同町仲町松本長三郎方雇人茨城縣生れ大内寅吉(五)が泥酔し

## 立志傳中の

### 佐藤平郵便局長

#### 三十年勤続功勞者として 遞信省より表彰される

佐藤平郵便局長は来る廿日の遞信記念日に在職三十ヶ年勤続者として仙臺遞信局に於いて遞信大臣よりの銀盃並に賞状を授與される事になったが氏は明治三十九

## 美しくしい花を

### 僅か五分間で造る

#### 笹井氏造花の妙技 けふ磐女校で講習會

磐城高等女學校では今十四日午前十一時から同校裁縫室で造花講習會を開いたが講師は笹井式造花傳習所長笹井銀月氏で從來の造花の型を破り種々な道具を使用

## 明日の部

前六、三〇 英語講座 全田忠郎  
前七、三〇 朝の修養「孔子の生涯」諸橋轍次  
前八、〇〇 家庭講座 「祭養と調理」下田吉人  
後八、〇〇 婦人の時間 「胎兒の生れるまで」山田一夫  
後九、〇〇 小學生高等科の時間、川柳の話「岸本水府」  
後三、一〇 教師の時間

## 自動車を止めて

### 人妻を襲ふ

#### 豊間のエロ運ちやん逮捕

豊間村大字沼之内字新衛自動車業鈴木房次郎方運轉手佐藤正(五)直は十二日午前二時五十分頃トラツクを運轉して田村二瀬村地内縣道を疾走中同村大字糖塚字古町地内の暗がり同村糖塚字反田一四〇大工職健治妻相田スイ(三)が深夜の一人歩きしてゐるのを見て劣情を起しトラツクを停めて同女を暴行せんとして組打り行方を晦ましたが十三日午前二時頃何喰はぬ顔で附近縣道を運轉中小野新町署に逮捕され犯行を自白した

## 河中に轉落

### 少女溺死

十三日午後二時頃小川村大字上小川字戸渡佐藤勝五郎義妹大森スミ(一〇)さんは同村戸渡川附近通行中誤つて深部に轉落溺死した

## 坑夫壓死

### 湯本町入

山炭礦運搬夫石田一郎(三)は十三日午後八時頃同礦第六坑内で作業中炭車に挟ま





(著上原)

悟道軒圓玉 (作)  
丸尾至陽 (書)

九六 八百松の計略

傳法院の歩兵の屯所、こ  
れは市中取締のために設け  
た臨時出張所

△「神妙にしる此奴  
といひつゝ番士に飛びつ  
いて来た醉漢の腕を捻ぢ上  
げて繩を打つた、酔れどは  
バタ／＼と足をかみならし  
○「縛つたな、さア殺せ」  
そこへ仆れて足にてそれ  
にあつた番手桶を蹴仆し  
ア殺せとあれるふ。

○「困る奴だな、これこち  
らへ參れ」  
引き立て假牢へ投げ込んで  
○「神妙にいたせ、酔がさ  
めたならば以後このやうな  
亂暴を働くことのならぬや  
うにいたして遣はす」

△「何をいやアがる、俺の  
錢で俺が飲んだ酒だ、ため  
いの世話にはならねえ、オ  
ヤ暗いところへ入れたな、  
これは不思議だ、こゝに女  
があるせ、有難い、女と  
一緒にゐることは色氣があ  
つて好いな役人は苦勞人だ  
オ、役人、水を一杯持つて  
来てくれ、ヤイ役人水だ  
〜」

○「何んだらう此奴は、こ  
れ靜かにいたせ」  
△「靜かにするから水をく

○「待つて居れ、こらあば  
るなあばれるな、羽目がこ  
われるぞ」  
△「こはれたならばこしら  
いてやるよ、憚りながら大  
工の辰藏さんだ」  
○「靜かにしろといふが判  
らぬか神妙にして居れ」  
看守は水を取りに行く、



送られたと聞き、そこへ俺  
が出て来た、こゝは歩兵の  
屯所だ、あいつらは田舎者  
で江戸のごろつきは判らね  
え、俺などは今まで傳馬町  
の牢に入つたことは十度以  
上、して見れば八丁堀の且  
那衆(同心)や岡つ引はみん  
な俺の面をおぼへてゐる、  
ところが山國から出て来た  
こゝにゐるやつらには判ら  
ねえ」

松「それでは大將、後生だ  
からもう一杯水を持つて來  
ておくれ」  
○「貴様のやうな手数のか  
ゝる酔どれは珍しいな、持  
つて來てやるから神妙にい  
たせ」  
またお桶を持つて立つて  
行く、あとに八百松は聲を

引出すについてはこゝに計  
畫を用ひるんだ」  
花「夜になつてお役所へ送  
ることは出来まい」  
松「それを送るやうにする  
んだ、その途中でお前を引  
つさらつてしまふ、やいや  
つこ水を持つて來たか」  
○「靜かにいたせ」としか  
りつけた係りの者。

あとにこの男は表に目をつ  
けて、女の前へ進みより  
男「姐さん」  
花「オヤ、お前は松さんだ  
ね、何うしてわたしがこゝ  
にゐるのを知つたの」  
松「青木の旦那と横濱へ行  
つて歸つてくると、お前が  
あげられて傳法院の屯所に

言をかいてお前に會うため  
に來たんだ」  
○「靜かにいたせ、これ何  
を申してゐる」  
松「お、水を持つて來た  
か」  
○「さあ呑め」  
はげた腕をそれへ出した。  
松「有難い、お前はなさ

ひそめて  
松「お花さんお前を助ける  
ためにこゝへ來たんだ、日  
が暮れて町奉行に送りにな  
るやうにすつかり手配が出  
來てゐるのよ」  
花「さう、して青木さんは  
何うしたえ」  
松「旦那はゐるよ、お前を

井坂 醫院  
平町 田町  
電話 一六四番

看護婦急派  
求めに應じ  
ます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

皆様の足? 尼子タクシーへも豆タクが入りました

御立關から立關へ 迅速簡便 是非御利用を

市内 三〇錢  
市外 四割引

宮行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目 尼子自動車商會 電話六四〇番

磐城セメント會社特約店

**又 釜屋 豆腐店**

磐城平町五丁目 電話九・九九

- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は「又」の生命なり

花見折詰の準備が出来ました、何卒御用命の程御待ちして居ります

すし折詰 二十錢より  
魚折詰 二十錢より

今年の特目新しい材料を豊富に仕入れましたから 精々勉強致します

●おいしい水豆初めました

平二警察署裏通り

**魚清食堂**

電話 六六五五